

本年度の重点目標

自立と幅広い社会参加をめざす学校づくり
 保護者や地域から信頼され、安心安全な学校づくり
 教科指導、生徒指導、健康指導、進路指導の充実

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(2月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校は、視覚障害教育の推進に努めている。	A	A	A
	学校は、教育方針や教育目標について保護者に説明し、共通理解を図っている。	A	A	A
2 教育課程・学習指導	幼児児童生徒に応じた教材教具の開発・収集・利用および視覚補助具の活用と工夫に努力している。	A	A	A
	社会的・経済的な自立を保障するための職業教育を推進している。	A	A	A
3 生徒指導	学級担任を中心に、幼児児童生徒の望み、思い、悩みなどを的確に把握し、理解している。	A	A	A
	事件や事故、問題行動発生の際、迅速かつ組織的に対応している。	A	A	A
	いじめを見逃さないよう、幼児児童生徒の学校生活の把握および指導を行っている。	A	A	A
4 進路指導	勤労意欲、職業観の育成等、系統的に進路指導を行っている。	A	A	A
	関係機関と連携し、情報収集や進路開拓に努めている。	A	A	A
5 保健・安全指導	幼児児童生徒の事故・怪我・病気などへの対応が適切に行われている。	A	A	A
	校内や通学路の安全を常に確認している。	A	A	A
6 人権教育	幼児児童生徒自身が障害を受容し、積極的に生きる力を育てている。	A	A	A
	自分自身に関わる権利意識とともに、他を思いやる気持ちや正義感・倫理観なども豊かに育つよう努めている。	A	A	A
7 環境教育	清潔で心地よい学校にするため、清掃を励行している。	B	A	A
	体験学習をとおして常に自然と触れ合うことができている。	A	A	A
8 交流教育	授業や行事を通じて、地域の学校等と活発な交流ができている。	A	A	A
	部活動や生徒会行事を通して、近畿の他の盲学校等との交流が深められている。	A	A	A
9 教職員の現職教育	点字等の専門性を高めるための研修会を、年間を通して積極的に実施している。	A	A	A
	各教科、分掌組織による研修が計画的に行われている。	A	A	A
10 センターの機能の発揮	地域の学校と連絡を密にし、的確な支援を行っている。	A	A	A
	就学前乳幼児から中途視覚障害者まで、個々に応じた教育相談を実施している。	A	A	A
11 その他学校の取り組み	学校生活全体を通して自主性・社会性の育成に努めている。	A	A	A
	生活の場として、基本的な生活技能の習得を支援している。	A	A	A

(注) ・ A B C Dの基準… A : 肯定的な評価が75%以上 B : 50%以上75%未満 C : 25%以上50%未満 D : 25%未満

・ 生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。

・ 自己評価：教職員により評価するもの。学校関係者評価：保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価するもの。